

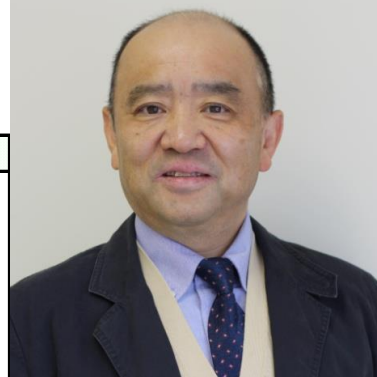
アテロコラーゲンの医療分野への活用について

－ 創傷の早期回復 －

獣医学群 / 獣医学類 / 獣医組織解剖学ユニット

竹花 一成

[Kazushige Takehana] 教授 [博士(獣医学)]



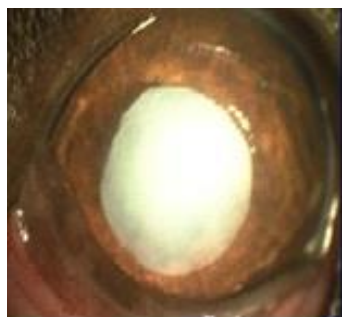
● 研究の概要

コラーゲンは動物体内に広く存在するタンパク質であるが、生体反応等の問題がある。そこで、コラーゲンの人工再構成産物であるアテロコラーゲンをを用いた外傷疾患に対する早期治療システムを検討している。

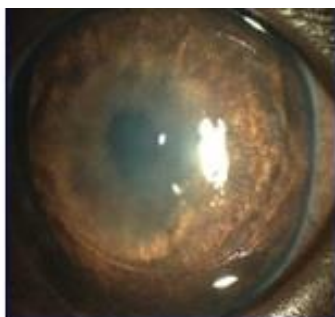
● 研究の内容・特徴

コラーゲンはBSA等の問題があり安全性の保証は不明である。そこでわれわれはすでにコラーゲンの人工産物であるアテロコラーゲンをを用いた組織適合性を調べ、「角膜損傷部早期修復法の有効性」として論文化(Nagayasu et al., 2008)に成し得た(図1)。アテロコラーゲン(ウシ真皮由来)は世界保健機構(WHO)によりBSE感染性がないことを報告され、医療用品4整形用品として既に認可されている(承認番号:16100BZZO1355000)。このアテロコラーゲンは美容整形での使用に限定されず、軟組織の陥凹部補正修復用にも用いられ効果を得ている。この成果をより広く活用するために多くの臨床活用が求められ外傷疾患への応用を目指している。アテロコラーゲンの治療効果が明らかになれば、通常より早く治癒が完了することができ医療現場におけるQOLの向上に寄与できる。

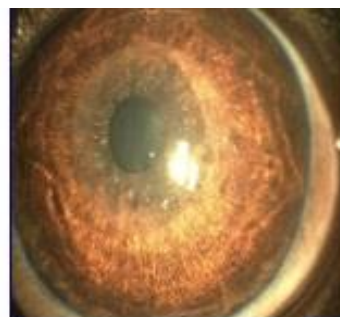
図1)



day1



day2



day7

● 用途・応用例

- ・創傷部位での細胞分化の促進
- ・裂傷部位での細胞分化の促進
- ・早期回復、QOLの向上
- ・
- ・
- ・

● アピールポイント

実用化を目指す分野・製品像:製品像は創傷に対する代替物となりうるアテロコラーゲンで、医療用品4整形用品として既に認可されている(承認番号:16100BZZO1355000)。このアテロコラーゲンは美容整形での使用に限定されず、軟組織の陥凹部補正修復用にも用いられ効果を得ている。しかし創傷部位への適応は現在まで皆無である。治癒回復時間の向上の期待が出来る。

● 本研究に関連する知的財産

発明の名称 :

特許番号 :

● 研究室のホームページ